

組合回覧

平成17年8月9日発行

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 龍江地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

第1回 地区懇談会が行われました

日時 平成17年 7月20日(水) 19:30~21:30

場所 龍江公民館

参加 検討委員13名、コーディネーター他

宮田村から田辺和夫先生(宮田村農業農村支援センター 総合推進員)をコーディネーターにお招きし、龍江地区から選出された検討委員が2つのグループに分かれ、龍江地区の現状について議論しました。

今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。

飯田市の土地利用計画については、2ページをご覧ください。



日頃思っている意見を書きました



当日出された主な意見については
3~4ページをご覧ください。

次回、第2回懇談会は次のとおり開催します。

日時 8月21日(日) 8:30~12:30

場所 龍江公民館

内容 地区内のタウンウォッチングを行い、第1回懇談会で出されたよいところ・課題・将来等を地図上に整理し、地区の現状・将来について話合います
龍江地区内の方で参加を希望される方は、龍江支所まで事前にご連絡下さい。

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関係する土地利用の課題の共有化、基本的方針（骨格）についての意見の反映
- 龍江地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

地区（連合）自治会等から推薦された、25名で構成されたメンバーです

<今年度の開催予定>

今年度、上半期は各地区で2回開催し現状把握・将来像について話し合い、下半期は3回程度開催し、地区の土地利用方針について話し合う予定です

龍江地区の現状は？

生活

よいところ・宝

気候に恵まれ住みやすい。
三遠南信自動車道に関連して
・天竜峡ICに近い。
・中央道に乗りやすくなる。

課題

道路が狭い(県道、天竜峡、4区方面など)
生活道路が狭いである。
大型観光バスが入れない。
農業振興と宅地化
農振のため宅地化しづらく、
人口が増えない。
若者が少ない。娯楽場がない。
店が少ない。コンビニがない。

商業・工業・観光

よいところ・宝

天竜峡
温泉がある。
土取場跡地の工業団地

課題

商業、工業少ない。
産業振興の生産拠点(工場)がない。
温泉の利用が少ない。
天竜峡周辺がさびれて
さみしい。
観光地なのに宣伝が少ない。

農業

よいところ・宝

龍江のりんごはうまい。
粘土質のため農産物の味は
全てよい。
今田平に大きな平地と農地が
ある。
傾斜地のため水はけがよいので
果樹に適している。

課題

今田平以外は平地がほとんど
ない。
耕地の形状がよくない。
耕作しづらい。
地形的に大産地化しない。
水(農業用水)が少ない。
生産性が課題。



公共・福祉サービス

よいところ・宝

市民バスがたいへん好評なので強化したい。
ゆいの里がある。
下水道が入って住み良くなった(水がきれいになった。ホテルが出始めた。野ネズミが少なくなった。)

課題

中学が2校に分かれることは悲しい。

自然環境・歴史・文化

よいところ・宝

緑が多く空気がきれい。
イタチガ沢の自然が素晴らしい。
天竜峡の景観や、天竜峡国定公園
昔からの文化財、人形等の伝統が守られている。
今田人形の歴史を大切に守っている。

課題

自然だけでは生きていけない。

拠点・その他

よいところ・宝

桜並木が会員の努力が実り、よくなってきた。

課題

サラリーマン世帯が家庭中心で今一つ地域の
活力が弱い。
従来の都市計画重点主義が今の問題を引き起こ
している。
地域の活性化とはなにか、どういうことか、
基本から考えるべき。

龍江地区の将来は？

こうなってほしい・こうなってほしくない

生活

若者が定住できる地区であってほしい（そのために市営住宅、マンション・アパートを）。農振区域の宅地化。今田平を住宅地に。
大事な農地以外は宅地を増やし人口確保
道路整備
今田平より天竜峡新橋をつくってほしい。
隣近所の人形関係を大事にしたい。
龍江地区全体で祭りがしたい。
20年後くらいに山中に廃集落があるのでは。
都市化は望まない（龍江は今で十分）。

公共・福祉サービス

高齢者の集まれる場所。
デイサービスセンター、老人ホームがほしい。
多目的運動場の照明設備がほしい。
園児、小学生が少なく保育園、小学校の存続が心配。

商業・工業・観光

工場がきてほしい。
天竜峡活性化の構築
温泉の有効活用
船下りとりんごの協力
川路、龍江、時又と一緒に
なった観光地化
天竜峡から遠山、赤石への
ロープウェイを設け観光拠点とする
身近で買物のできる店（スーパー）がほしい。

自然環境・歴史・文化

天竜川で泳ぎたい（そうなればよい）。
龍江は今後ビオトープばかりになるとよい。
尾林焼の歴史を展示する館がほしい。
神社仏閣の保存、伝承を後世に引き継ぐ。
森林保全と里山の整備
天竜川がアレチウリで
いっぱいになる。

農業

地区の特産品づくり
もうかる、元気のある農業を行いたいナー。
グリーンツーリズムで地域の活性化を促進する。
農振農用地の確保
換地をして農地をまとめてほしい。
優良農地以外は山林、牧草地へ帰す。
農振地区にこだわってほしくない。竜東は農業経営に適していない。
荒廃地の増大
後継者がいなくなった時、一洞荒れて動物の害が出てくるのでは。

拠点・その他

伊那谷を自然の博物館と位置付け、産業・行政・個人すべてが協力するようにしてほしい。

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします。ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください。

飯田市役所

〒395-8501 飯田市大久保町2534 22-4511

担当課：企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局・建築課・市役所龍江支所

「地区懇談会だより」に関する連絡先：農業課（担当：松村）

〒395-0817 飯田市鼎東鼎281 21-3217 Fax 52-6181

E-mail: nousei@city.iida.nagano.jp

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、
飯田市ホームページでもご覧になれます
ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」

飯田市役所龍江支所

27-3004 Fax 27-3167